

第4 府民がいきいきと暮らせる地域づくり

<< 現状と課題 >>

- ・今後、少子高齢化の進展や家族形態・就業形態の変化など、地域を取り巻く環境の変化により、将来、生活環境がより厳しい状況となることが予想されます。
- ・地域の生活基盤を維持するとともに、伝統行事や技術の継承、地域防災や犯罪被害防止など、安心・安全な地域づくりを進めるためには、各地域の持つ地域力を再生するとともに、NPOや大学などとの交流・連携を更に活性化することが重要です。

(1) 人権の尊重

- ・同和問題や女性、子ども、高齢者、障害のある人、外国人、患者等に対する人権問題など、様々な人権問題が依然として存在しています。
- ・インターネットの普及など時代の変化に伴って、新たな人権侵害が増加しています。
- ・こうした事案に対する適切な対処や人権尊重意識を一層向上させるための教育と啓発の充実が求められています。

(2) 地域力再生・NPOとの協働

- ・京都府では、平成19年度から地域力再生プロジェクトにより市町村と協力して、地域力の再生に取り組む団体を支援しています。
丹後地域での平成25年度までの7年間の支援団体数は、環境や子育て支援、防災・防犯、地域産業おこしなど様々な分野で423団体となっています。
- ・地域活動団体の交流・協働の拠点として丹後NPOパートナーシップセンターを設置し、NPO等への支援を行ってきました。
丹後地域の特定非営利活動法人(NPO法人)数は、平成25年度末現在で46法人となっており、今後、団体間の情報交換等による活動の輪の拡大が求められています。

(3) 若者が誇りと愛着を持って暮らせる地域づくり・地域を担う人づくり

- ・丹後地域は、20～30歳代の人口比率が府平均と比較して低率となっており、地域の活性化を牽引する次世代の人材不足は大きな課題です。
- ・10～20年後の丹後を見据え、未来を担う子どもたちに丹後の自然・歴史・文化を学習・体験する機会等を提供することで、ふるさとへの愛着を高め、地元定着者を増やすしくみづくりが求められています。
- ・元気な高齢者についても、地域で必要とされる仕事や役割を担うしくみづくりが必要です。
- ・天橋立の世界文化遺産登録をめざした活動や山陰海岸ジオパークなど、丹後地域の魅力を世界へ発信するためには、英語等の外国語に対応できるガイド等の養成が求められています。

(4) 命の里の再生とふるさと保全活動

- ・農山漁村地域は、担い手不足や過疎・高齢化が急速に進む中、生産だけでなく、集落機能や活力の低下も心配される状況にあります。
農林漁業の持続的な発展により、地域の美しい風景、豊かな生態系、環境等を維持、保全するしくみが必要です。

(5) 公共交通、地域内の道路網等の整備

ア 公共交通

- ・KTRは、路線バスとともに、観光振興はもとより、通学など地域の交通手段として重要な役割を果たしていることから、両者が連携し、より便利で使いやすい公共交通ネットワークの実現が求められています。

イ 道路

- ・丹後半島一周・京都の新海遊ルートを形成する国道178号、176号、312号、482号及び主要地方道網野岩滝線、網野峰山線などの道路改良とともに、地域状況に応じた道路の整備や通学路の安全対策、また冬季の安全で円滑な交通の確保が必要です。

目標：地域力再生交付金や協働コーディネーターとの連携などによる地域力再生活動に取り組む団体数 230団体（平成25年度：206団体）
：KTR利用人数 200万人（平成31年度）（平成25年度：186万人）

<< 重点施策 >>

- 市町とも連携して、様々な人権問題の解決に向けて取り組むとともに、地域力再生活動の推進など行政やNPO、住民が連携・協働した取組や若者が誇りと愛着を持って暮らせる取組を通じて、地域を活性化します。

また、公共交通機関や地域内道路の利便性向上を図り、交流の基盤整備を進めます。

(1) 人権の尊重

- ・同和問題や女性、子ども、高齢者、障害のある人、外国人、患者等様々な人権問題の解決に向けたあらゆる場を通じた人権教育・啓発等施策の推進
- ・ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメントなど性別をはじめとする人権侵害の改善など、すべての人がその個性と能力を発揮し、いきいきと活躍できる男女共同参画社会の実現に向けた取組の推進
- ・インターネット上での人権侵害や街頭で公然と行われる差別的な言動など新たな課題も踏まえた取組の推進

(2) 地域力ビジネス等新たな地域力再生活動への支援強化

ア 地域力再生活動の新たな展開

- ・住民自身が多様な主体と連携・協働して、ビジネス的手法により新しい仕事や働き方で地域課題を解決し、自分たちで継続的な地域づくりに取り組む「京都地域力ビジネス」の推進
- ・住民、団体、行政等が幅広い意見やアイデアを出し合う場（プラットフォーム）を通じた地域課題解決のための相互連携や新しい協働活動の創出

イ 丹後NPOパートナーシップセンター機能の充実

- ・民間の力で地域力再生活動を応援する中間支援団体の育成
- ・地域内のNPO活動支援と団体間の情報交換の促進及び団体間のつながりを強化するイベント等

の開催

(3) 若者が誇りと愛着を持って暮らせる地域づくり

ア 明日の丹後を担うひとづくり

- ・丹後地域の小・中・高校生に対する地域づくりへの意欲や郷土愛を育むための教育の推進
- ・「生きる力」を育むための教育の推進
- ・全国的又は世界的に活動・活躍する人に接する機会の提供

イ 未来を担う親づくり

- ・若者の各種イベントへの企画段階からの参画や地域文化活動等の支援
- ・家庭・地域社会の教育力を高め、子どもたちが安心と愛着を持って暮らせる家庭・地域づくり
- ・婚活に関するコーディネーター等の養成・配置やネットワークの構築（再掲）

ウ 子どもたちの安心・安全に向けた予防教育の推進

- ・いじめ・暴力・不登校の諸問題を未然に防止するための教育の推進（一部再掲）
- ・地域全体で子どもたちを守る安心・安全な環境づくりの推進

エ 地域遺産への理解と伝統文化・行事の継承

- ・地域の伝統文化等体験を通じた豊かな人間性を育む教育の推進
- ・地域についての理解を深めるための体験学習等の実施
- ・丹後地域を発信する案内ボランティア（ガイド）として活動できる中・高校生の育成

(4) 地域を担う人づくり

ア 人材の育成とおもてなし力の強化、農林水産業等の担い手の確保・育成及び「丹後・知恵のものづくりパーク」における人材育成と施設の有効活用（再掲）

イ 高齢者の技術・能力の活用

- ・生きがい対策として、農林水産業・製造業をはじめとして就労等に意欲のある高齢者が持つ技術・経験の積極的な活用及び次世代への継承（シルバー人材センターの運営支援など）

ウ 国際交流の推進

- ・国際交流員や名誉友好大使等による外国文化の理解講座の開催等

エ 大学と地域との連携、地域外の人材活用

- ・一般社団法人京都府北部地域・大学連携機構、大学、企業、NPO等をはじめ地域外の人たちとの連携・協働によるふるさと保全や観光・産業振興等の地域の活性化

(5) 命の里の再生とふるさと保全・農村再生活動

- ・非農家や地域の女性・子どもたちなど地域ぐるみでの農山漁村地域の生産基盤や環境を守る活動の推進
- ・大学や企業、NPO等との連携・協働によるふるさと保全活動の推進

- ・共に育む「命の里」事業等を活用した農山漁村地域の再生
- ・過疎・高齢化が進む地域への「里の仕事人」や「里の公共員」の配置による地域の維持・発展の支援
- ・地域資源をいかしたオリジナルの農山漁村ビジネスや村づくりへの伴走支援
- ・市町が行う空き家改修への支援を通じた都市部からの移住定住促進とモデルファーム運動等による耕作放棄地の有効活用
- ・農家・漁家民宿の開設支援による地域の魅力発信の推進

(6) より利用しやすい公共交通ネットワークの実現

- ・地域公共交通の利便性向上の取組について、市町や様々な団体との連携による持続可能で、より利用しやすい公共交通ネットワークの実現
- ・KTRの上下分離方式による事業再編、「乗りたい列車化」に向けたリニューアルや駅舎整備支援等の抜本的な経営改善と利用拡大の推進、路線バスとの連携強化等に対する支援
- ・KTR駅舎のトイレの改修等利便性の向上とコミュニティ施設としての有効利用の推進

(7) 地域内の道路網整備（幹線道路の2車線確保と地域道路の整備）

- ・舞鶴宮津線（惣～皆原）、浜丹後線（宮）など、地域内幹線道路の未改良区間の整備推進
- ・地域道路の1.5車線的道路整備の推進